

母の心で世界を抱き、勝利する母の国となろう

全国に先駆け 1 万名大会、「孝情文化フェスティバル in TOKYO」開催！



「孝情文化フェスティバル in TOKYO」の会場全景

VISION2020 勝利に向けて跳躍する日本

日本の世界平和統一家庭連合は現在、食口の在籍人数が2013年以来の最高値を更新するなど、実質的な成長を通した VISION2020 勝利に向けて跳躍期を迎えています。日本家庭連合の跳躍の始まりは2016年10月6日、真のお母様をお迎えして韓国で開催された「韓日天一国指導者と合統一出征式」でした。この出征式を通して、同年10月12日から17年2月の基元節4周年まで「VISION2020勝利のための120日路程」をスタート。真のお母様の佐賀・唐津の奇跡と国際指導者会議（ILC-Japan）2016年大会の成功を通して、真の父母様と一つになれば必ず勝利するという絶対信仰を確認したのです。

そして昨年12月、日本の報告をお聞きになられた真のお母様は「県ごとに1万名の食口基盤を準備できれば、私が直接訪ねましょう」と祝福の約束を下さり、5月14日の「孝情文化フェスティバル in TOKYO」が、真

のお母様を直接お迎えして開催された最初の大会となりました。

真のお母様が日本で食口たちと共にする大会は、去る2013年の「日本宣教55周年記念大会」以来3年7ヵ月ぶりで、お母様の祝福の約束が果たされた最初の大会となった東京大会は、これから日本全国・47都道府県において2020年まで開催される予定で、VISION2020救国救世のための母の国・日本の堅い基盤となります。

“韓国、日本、アメリカの指導者が一つになり、世界平和の先頭に立たなければならない”

5月12日、日本に入国された真のお母様は、旅の疲れを癒す間もなく9日に日本の国会議員たちと「日本—アメリカ国会議員 有職者懇談会」に参加した世界平和国会議員連合のアメリカのVIPた

ちとの晩餐会を開かれました。

晩餐会でアメリカのVIPとの有職者懇談会に関する報告を聞かれた真のお母様は、「アメリカの誕生は清教徒たちの信仰で出発し、まず初めに天の父母様のための教会を建て、次に後代のための学校を建て、その後に自分たちが住む家を建てました。天の父母様をまず先立てたので、200年という短い期間に世界の政治経済のスーパーパワー国家となったのです」と説明。「これからアメリカは、メシヤとして来られた真の父母様の環境圏をつくり、過去のローマと同じ立場で責任を果たさなければなりません」と語られました。

夏の訪れが近いことを感じさせる春の雨が東京を潤した翌日、真のお母様はほとんどの時間、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長を通して、日本家庭連合の全国の活動状況について一つ一つ報告を受けられました。

慈悲深い真のお母様のお姿に感動

切迫した摂理の陣頭指揮をとられる真のお母様は、健康な姿で病院から退院した李海玉総会長夫人をエレベーターで見るや否や、慈愛に満ちた眼差しで「大変苦労しましたね。日本の使命のためにも、いつも健康に気をつけなければなりませんよ」と語られ、李海玉総会長夫人はお母様の慈悲深いお姿に感動を禁じえませんでした。

以前、宋龍天総会長から李海玉総会長夫人の手術に関する報告を受けられた真のお母様は、「すべて上手くいくので、何の心配もないと夫人に伝えなさい」と語られました。急変する摂理の中で昼夜を問わず公務を遂行される中でも、真のお母様が慈悲深い心情ですべての子女たちに細心の配慮をされるお姿に、宋総会長夫妻は母の愛を体恤し、より一層真のお母様に心配をかけない子女になるとの決意を新たにしました。



(上) VIP の参加者
(下左) 真のお母様を紹介される文善進世界会長
(下中央) 真のお母様、文善進世界会長と宋総会長夫妻（祝勝会で）
(下右) 主催者挨拶をする徳野会長

1万本のカーネーションに込められた日本食口の“孝情”

「孝情文化フェスティバル in TOKYO」の大会会場となった有明コロシアムは、天井が開閉式になっているドーム型体育館です。この会場は1万人が収容できる競技場として、2020年に開催される東京オリンピックのテニス競技場として使用される予定です。14日の大会当日には、開演の3時間前から参加者たちが列をなし、開場と同時にすべての座席が満席に。座席のない参加者およそ2000人は、モニタールームで大会に参加しました。参加者1万2千人の中には、新規ゲスト約2500人が含まれます。

午後2時、家庭連合を紹介する映像が上映され、いよいよ開幕宣言がされました。オープニングセレモニーでは、躍動的な青年およそ50人のダンスチーム「CHURCH of ROCK' N' ROLL」のダンスと和と洋を融合させた音楽、そして映像と照明のハーモニーが参加者たちを一瞬で孝情文化フェスティバルの雰囲気に引き込みました。続いて「伝統を相続する旗手」と題し

た祝福二世の青年によるスピーチでは、ステージを広く使って移動しながら発表する彼の堂々とした姿に、日本家庭連合の未来が希望で満たされていることを感じさせました。

戦闘や飢餓などの映像上映の後、白い上下の衣装をまとった東京HJユース・クワイヤが登場。まず「祖国賛歌2017」が会場を荘厳な雰囲気にし、バイオリンの演奏で始まった「Amazing Grace」は、軽快でありながらも敬虔さで会場を包み込みました。また、菅野愛翔さん（16）は、母親への深い感謝の思いをつづった「母への手紙」を朗読し、会場の母親たちの心を揺さぶりました。

「ワシシップ・ダンス」では、東京の中高生約200人が、真のお父様の神様に対する「孝」の心情を表現した合唱曲「孝心」を歌とダンスで感動的に披露。続く「母からの手紙」では、真のお母様が1973年5月、長男の文孝進様に向けてしたためられた手紙が朗読され、そのひと言ひと言に真のお母様のほとばしるような深い愛情を感じさせられました。

最後に女性歌手が祝歌「Oh my mother」をしっとり



祝勝会でケーキカットをされる真のお母様と文善進世界会長



フラワーセレモニー



み言を語られる真のお母様

と歌い上げ、母への愛を参加者たちに伝えました。

強弱のバランスをなした踊りと歌で表現された前半が終わり、代表報告祈祷がありました。続いて、徳野英治会長が主催者挨拶で、参会者に感謝を伝えた上で、混沌とした世界情勢の中で、「難破船」のように漂流する人類を正しい道へと導いてくださるのが真の父母様であることを強調。真のお母様は1992年、93年、95年に東京ドームで5万人大会を勝利されたと語りながら、「日本の『母の日』に真のお母様をお迎えすることができたのは、奇跡中の奇跡です。人類の真の母であられる韓鶴子総裁のメッセージを受け、真の父母様と完全に一つとなり、VISION2020勝利に向かって救国救世の基盤を築いていきましょう」と力強く訴えました。

来賓の紹介、政界を代表する来賓2人の挨拶と祝電披露に続き、真のお父様の自叙伝『平和を愛する世界人として』に基づき、真のお母様に関する内容を中心として制作されたお母様の紹介映像が上映された後、文善進世界会長が登壇。真の父母様と真のお母様は、絶対的で、永遠な私たちの中心点であると紹介しながら、「きょう、

この日は日本を中心とした摂理の転換点として永遠に記憶され、天一国の実現とVISION2020勝利に向かう母の国・日本の大きな祝福の日として記録されるでしょう」と心情的に語られ、「きょうは、栄光の日です。天宙の春であり、無限なる祝福と永遠なる喜びの日に私たち皆が立ち上がり、真の愛の実体であられる慕わしい真のお母様に感謝の心情をカーネーションに込めてフラワーセレモニーでお迎えしましょう」と語られました。

続いて、女性歌手の軽快な歌「Mother's Smile」と『オンマ（お母さん）』に合わせて、ダンスを披露したメンバーたちが参加した1万人が持っていたカーネーションを1本1本集めました。大きな花束となったカーネーションは、舞台上の階段に真心を込めて並べられ、白い階段は徐々に赤いカーネーションで一杯に。1万本のカーネーションに込められた日本食口たちの孝情が集まり、真のお母様を迎えるための大きな祭壇がつくられました。

全体が起立し、大きな拍手を送る中、赤い色のカーネーションで飾られた壇上に舞台中央のカーテンから登場された真のお母様は、美しいブルーの衣装をまとった優雅なお姿で、祝福二世から花束を受け取られまし



祝勝会でパフォーマンスを披露する天一国青年宣教師

た。続いて、金紋奭・西東京教区長と浅香睦子・北東京教区婦人代表が、全体を代表して礼物として鶴の置物を奉呈しました。

そして今大会のハイライト、真のお母様の特別なみ言がありました。**(み言の全文は 8、9 面に掲載)**

冒頭、「私は、母の日のきょう、皆様の美しい気持ちをありがたく受け取ります」と述べられた真のお母様は、「人類文明史を通した天の摂理と日本の使命」と題するみ言の中で、4000 年の復帰摂理の結果として生まれた独り子・イエス様の路程に触れた上で、キリスト教が 2000 年間に世界へと版図を広げた末に、民主主義と独り娘の基盤が花咲いた場所がまさに韓半島であると説明。その上で、解放後の韓半島において、民主と共産が衝突した韓国動乱に 16 カ国からなる国連軍が参加するようになったのは、真の父母を守るための天の父母様の摂理であり、「これが歴史の真実です」と宣言されました。最後に、真のお母様は「世界のすべての難問題、また日本の問題を解決するためには、父母に侍らなければなりません。絶対権限を持たれた神様、創造主、天の父母様に侍る運動が、正に家庭連合の運動です。日本、エバ国家の皆様が、世界を前にして母として、世界の人類を兄弟として教育し、束ねていくために総力を挙げなければなりません。日本の国民のために生きる、真の愛を实践する姿をもって、

世界を抱く母の国になることを、お祈りいたします」と語られ、参加者全体が、熱い拍手を送りました。

最後に、すべての参加者が起立して、金満辰・第 5 地区長の億万歳四唱が行われ、大会勝利を祝う祝砲の中、真のお母様に敬拝を捧げました。満面の笑みを浮かべられた真のお母様が退場された後、参加者全体で今回のフェスティバルのテーマ曲である「Mother's Smile」を合唱しながら、大会は閉幕しました。

「真の父母様御来日歓迎及び東京 1 万名大会祝勝会」を開催

「孝情文化フェスティバル in TOKYO」を盛況のうちに終えられた真のお母様は、東京・新宿の京王プラザホテルで開かれた「真の父母様御来日歓迎及び東京 1 万名大会祝勝会」に参加されました。祝勝会場には、世界平和国会議員連合のアメリカの VIP と日本の国会議員、元老食口、第 5 地区（東京）の責任者を含めた 350 人が出席。特にこの席には世界宣教に出発する天一国青年宣教師 100 人が参加し、真のお母様の大会の勝利を祝賀しました。

大会でのお姿そのままに到着された真のお母様は、参加者の熱い歓声と拍手の中をご入場。参加者全体でお母様に敬礼を捧げた後、祝賀会は始まりしました。天一国青



ワーシップ・ダンスで「孝心」を歌う 200 人の中高生

年宣教師の代表 2 人が花束を贈呈した後、参加者たちの「勝利おめでとうございます」の歌に合わせて、真のお母様は祝賀ケーキをカットされました。そして宋総会長夫妻が、全国の日本食口の精誠が込められた母の日の贈り物を奉呈し、田中富広副会長が代表報告祈禱を行いました。

真のお母様の 1 万人大会の摂理的意味

次に、宋総会長が挨拶を行い、今回の大会の摂理的な意味を解説。「今回の真のお母様の訪日の意味は、1 番目に今回の大会を通して、真のお母様は『天宙平和の王』であられることを公にされました。2 番目に、真のお母様は、韓国と日本、そしてアメリカの摂理の真なる主人であられることを宣言され、3 番目に真のお母様は、救援摂理を終結させるのは、天の独り子・独り娘である真の父母様であられることを宣布されました。最後に、日本の母の日の真の主人であられることを宣言された大会でした」と摂理的な意味を整理しました。

来賓 2 人からの祝辞に続き、李成萬本部長の音頭で「勝利提議」（乾杯）を行い、晚餐の時間となりました。

晚餐が進む中、参加した内外貴賓の紹介に続き、尹煥鎬世界本部事務総長が「真の父母様の最近の摂理」を解説しました。尹事務総長は、去る 2 月に真の父母

様の聖誕記念行事の一環として開かれた世界平和国会議員連合創設大会及び「ワールドサミット 2017」、「第 2 回鮮鶴平和賞」授賞式と、これらを契機としてその後全世界で起こっている奇跡的な天の摂理について報告。特に、アフリカやアジアで起こっている内容は希望的で、日本の先輩家庭や責任者、そして二世圏のメンバーたちは、日本の救国救世の基盤造成を改めて決意する時間となりました。

次に、真のお母様が命名された千葉鮮鶴合唱団が、世界各国の民族衣装をまとうて登場し、アンコールを含めて 3 曲を合唱。祝勝会場の雰囲気を盛り上げました。

続いて、第 5 期天一国青年宣教師を中心とする 100 人を代表し、宣教師 2 人が壇上に上がり、「真のお母様の代身者として、世界に母の心情を伝え、真の父母様を力強く堂々と宣布します」と決意表明をした後、天一国青年宣教師全員が登壇。合唱とダンスを通して自身の任地国を表現しながら決意する場面は、会場に感動の嵐を呼び起こしました。

最後は、柴沼邦彦・天一国特別巡回師の力強い先導で億万歳四唱を行って祝勝会は幕を下ろし、全ての参加者が勝利された真のお母様に感謝の心情で敬礼を捧げ、お母様をお見送りしました。



東京 HJ ユース・クワイアによる「希望の合唱」



フィナーレで歌とダンスを披露する二世の青年たち



金満辰第5地区長のリードで億万歳四唱

大会参加者の感想

■天宙の真のお母様が、母の国・日本の「母の日」である5月14日、2020年東京オリンピックが開催される有明コロシアムに来られ、孝情フェスティバルを主管して下さり、1万2千人の息子娘たちを抱いて下さり、摂理的使命を悟らせて下さったことに感謝いたします。

青年・二世の子女たちの華やかな踊りで幕が上がった大会は、青年のスピーチを通して、愛天、愛人、愛国的な家庭連合の祝福二世のアイデンティティを誇らしげに唱えながら、盛り上がりしました。特に、お母様が孝進様に送られた手紙の中で、誇らしい孝子となることを願われる懇切さが胸にじんとききました。

自叙伝を通してお父様が直接お母様の偉大さを証しされる映像は、母の日を迎えたきょう、改めて大きく胸に響きました。

文善進世界会長の真の父母様を愛する柔らかい笑顔のパワーは、むしろ強烈な愛のカリスマとして1万2千人の聴衆の心をつかみました。いよいよ真のお母様が剛健なお姿で、青年の色であるブルーの服を着て登壇され、「人類文明史を通した天の摂理と日本の使命」という題目で摂理史の秘密を明らかにし、私たちが無知であることを教えてくださいました。

天の父母様の本陽性を代表する独り子の実体と、本陰性を代表する独り娘の実体を探してこられた天の父母様の摂理的な紆余曲折の中で、大韓民国を探された天の心情の前に環境圏を広めてさし上げる運動が統一運動であると言明され、母の国・日本の使命をもう一度自覚させ

てくださいました。

きょうは東京大会を通して11月21日の大阪大会と11月22日の兵庫大会の大勝利の下絵を描くことができ、何よりも感謝でした。(第8地区長 朱鎮台)

■きょうは会員の皆さんが尊敬する韓総裁に直接お会いし貴重なみ言を賜り、光栄に思います。この機会を起点に、皆さんの運動により多く寄与できるよう努力いたします。(株式会社社長)

■壮大なフェスティバルに招待して頂き、誠にありがとうございました。母という役割は、多くの職業と比較してもより大きな役割を担当していると思います。きょうこの大会を通して、そのようにもう一度感じました。また、世界の女性のため、そして彼女たちが良き母になるための社会作りに少しでも貢献しなければならないと思いました。これはこれから具体的な人口政策、児童政策、そして、教育政策と関係するので、現実的な問題だと感じています。(前衆議院議員)

■久しぶりに感動的な時間を持つことができました。この文化フェスティバルに参加できたことは幸運であり、「為に生きる生活」、そして私は力不足ではありますが、積極的に活動に参加したいです。数年前に重症障害者のための施設を創立しました。その当時、暖かい寄付を受けたことを忘れられません。(社会福祉法人 理事長)



み言を語られる真のお母様



入場を待つ参加者たち

真のお母様のみ言

尊敬する内外の貴賓、愛する平和大使、家庭連合の会員、食口の皆様！「母の日」のきょう、皆様の美しい気持ちをありがたく受け取ります。

きょう、私は、「人類文明史を通した天の摂理と日本の使命」という題名で、皆様にお話をしようと思います。先ほど、多くの方々が祝辞を通して、今日の世界は暗澹とした、暗闇の世界であると述べました。主人がいません。そのような点で、私たちは歴史の真実を知らなければならないのです。

太初に、神様は天地万物を創造し、人間の先祖になり得るアダムとエバを創造されました。そして、アダムとエバに責任を与えられたのです。それは正に、神様が成し遂げようとされた夢でした。しかし、成長過程において過ちが起こりました。そして、神様は再び人間の先祖を探し求める、蕩滅復帰摂理をせざるを得なくなったのです。

サタン世界において選民を立てて、御自身が願われる真の父母となり得る人物を送るまで、4000年かかりました。どれほど大変であれば、そのように多くの時間がかかるのでしょうか。(神様は)4000年ぶりに、御自分が直接対することのできる独り子、イエス・キリストを送ってくださったのです。

しかし、どのようになりましたか。責任を果たすべきマリヤが、責任を果たせませんでした。ザカリヤ家庭、ユダヤ教、イスラエル民族も、責任を果たせませんでした。

天は4000年という長い歳月をかけて、カイン圏世界の版図を大きく築いておられました。そこにおいて、この中心人物たちが、イエス様が責任を果たせるような環

境圏をつくってさしあげなければならなかったのです。しかし、結局、そのようにはできませんでした。

そうして、イエス様は十字架で亡くならざるを得なくなりました。そのような中で、「私はまた来る」と言われたのです。再び来て、「小羊の婚宴をする」というのです。イエス様が来られた目的は、真の父母になることでした。2000年のキリスト教の摂理は、イエス様が出会うべき独り娘を誕生させる基盤として、成長しなければならなかったのです。

聖霊の役事によって出発したキリスト教は、300年余りが過ぎたのち、ローマから公認され、イタリア半島を越えて大陸に、そして島国であるイングランド(英国)にまで至り、大西洋文明圏の花を咲かせます。ここで、皆様が注目すべき内容があります。地政学的に、島国は半島と大陸を欽慕します。(そのため、)キリスト教の基盤であるイングランドと大西洋周辺の国々は、世界へと版図を広げました。しかし、結果的に見ると、(彼らは)キリスト教の本質が分からなかったのです。それゆえ、略奪をする文明になってしまいました。こうして、大西洋文明圏時代は限界にぶつかります。

17世紀に、イングランドの王ジェームズ一世によって、ギリシャ語およびヘブライ語で書かれていた聖書が英語に翻訳され、新しい信仰運動が起こりました。(しかし、)人間がつくった制度の中で天のみ旨に従うのは、簡単なことではありません。ですから、キリスト教文化圏で、多くの誤った出来事が起こりました。共産主義も、キリスト教文化圏から現れました。

神様を尊敬し、愛し、神様だけに頼って生きることを願う信徒たちは、アメリカ大陸に向かいました。天は彼らを祝福しました。将来、来られる再臨のメシヤの環境



VISION2020 の勝利を決意する第5地区の公職者たち

圏を築くための、天の祝福でした。一人の人間によって失敗が繰り返されてしまう歴史を、民主主義の方式によって防ぐことのできる環境を、天が祝福されたのです。

また、天はイエス様が約束された独り娘の基盤を準備してくれました。それが、大韓半島、韓国です。(拍手)

大韓半島は、解放とともに、民主と共産に分かれました。以北が、金日成(を中心とした)一つの体制をつくって南侵する準備をしているとき、以南は民主主義国家として、まだ定着できていませんでした。そうして、1950年6月25日、韓国動乱が起こったのです。その時、天はどのようにして国連を動員し、16カ国から成る国連軍を投入することができたのでしょうか。

人類の願い、神様の夢は、人間の先祖となる真の父母を通して成し遂げられます。真の父母が誕生した韓国が、共産化されるわけにはいきません。そのため、奇跡的に国連軍を動員することのできる機会を下さったのです。これが、歴史の真実です。(拍手)

その時、キリスト教の基盤は、再臨のメシヤを迎えることのできる環境圏になるべきでした。しかし残念なことに、(彼らは)神様が分からず、イエス様の本質が分からなかったのです。神様の夢は、人類の真の先祖、真の父母になることでした。そうであるとすれば、個人救援だけということはありません。家庭救援です。真の父母によって新たに生まれてこそ、神様の前に真の子女として立つことのできる道が開かれるのです。

そのような観点で見ると、2000年前、イエス様の誕生に際して、マリヤが責任を果たさなければならませんでした。しかし、マリヤはイエス様が何者なのか、分からなかったのです。イエス様がどのような人なのか、分かりませんでした。イエス様の使命も分かりませんでした。

しかし今日、イエス様が願い、出会うべきだった独り娘を誕生させた大母様は、責任を果たしました。(拍手)

それにより、この日本が真の父母の前に、エバ国として、母の国として責任を果たすという使命を受けることになったのです。(拍手)

ですから皆様は、清平を愛さなければならず、大母様の勝利的基盤を相続する位置に立たなければなりません。そうすれば、韓国、日本を中心としたアジアの国々が、太平洋文明圏の時代を開き、過去の大西洋文明圏時代とは違って、真の愛を中心とする心情文化革命を起こせるのです。(拍手)

きょう、この場にも、4000人を超える青年が集まったと聞きました。アジアの国々でトップガン修練を受けた青年が、1万人になるようにする予定です。彼らは、アジアはもちろん、世界に出ていくでしょう。そこに日本のトップガン(修練生)、青年会員も同参しますか。(はい)(拍手)

真の父母を知らなければなりません。世界のすべての難問題、また、日本の問題を解決するためには、父母に侍らなければなりません。絶対権限を持たれた神様、創造主、天の父母様に侍る運動が、正に統一教会、家庭連合の運動です。(拍手)

世界の万民が「神様のもとの人類一家族」となる夢を実現するために、日本、エバ国家の皆様が、世界を前にして母として、世界の人類を兄弟として教育し、束ねていくために総力を挙げなければなりません。(拍手)

きょう、「母の日」を迎えるに当たって、母親のような思いで世界を抱かなければなりません。(拍手)そのために、きょう集まった皆様が先頭に立って、偉大で歴史的な主役となるよう、懇切にお願いいたします。(拍手)そのようにしてくださいますか。(はい)(拍手)

1億3000万にもなる日本の全国民のために生きる、真の愛を実践する姿をもって、世界を抱く母の国になることを、お祈りいたします。(拍手)

真のお母様 “神様を中心とした地上天国を 創建する役軍となれ”

韓国で「2017 天運相続つつじ祝祭 孝情清平特別大役事」



5月5日から7日にかけて、韓国・清平の天宙清平修鍊苑で「2017 天運相続つつじ祝祭 孝情清平特別大役事」が行われ、世界67カ国から約2万8000人の食口・祝福家庭が集まり、天の父母様と天地人真の父母様の無限なる愛と許しの中で、霊肉ともに大きな恩恵を受けました。

今回の大役事は、真の父母様主管の「還元祈願奉獻式」をはじめ、文善進世界会長の特別講演、徳野英治会長の特別講義、真の父母様聖婚記念文化祭、所願成就祈禱会、1～308代先祖解怨式及び1～301代先祖祝福式な

ど盛りだくさんのプログラムがありました。

6日夕、愛の樹の広場の特設会場で開かれた「2017 天運相続 孝情 還元祈願奉獻式」では、真のお母様が広場一杯に集まった食口たちにみ言を語られ、「神様を中心とした地上天国をつくるにおいて、世界をひとつに結ぶ、誇らしい統一の役軍たちとなることを懇切に願います」と激励されました。

①み言を語られる真のお母様 ②フィナーレで夜空を彩る花火
③祈願成就書を生命水に溶かして奉獻する「還元奉獻式」
④韓国少女民族舞踊団リトルエンジェルの演舞
⑤愛の樹の広場を埋める参加者(以上はすべて、5月6日の還元祈願奉獻式で)

孝情の涙で天宙聖和 5 周年をお迎えしよう！

全国一斉に「120 日特別路程 母の国教区連合出征式」

来る 2017 年 9 月 7 日、天地人真の父母天宙聖和 5 周年を迎えます。日本家庭連合は、「21 日間準備特別路程」（4 月 19 日～5 月 9 日）を終えた 5 月 10 日、真のお父様の聖和 5 周年までの 120 日間（9 月 6 日まで）を真の父母様と一心一体一和一念をなすための特別期間と定め、「孝情の涙で天宙聖和 5 周年を迎えよう！」とのスローガンを掲げ、全国各教区の大聖殿で「120 日特別路程 母の国教区連合出征式」を挙行了しました。



- ①第 5 地区連合出征式の参加者
- ②特別メッセージを語る宋龍天総会長
- ③開会の辞を述べる徳野英治会長
- ④宋総会長のメッセージに拍手を送る参加者
- ⑤参加者に向かって檄を飛ばす金満辰第 5 地区長
- ⑥出征の宣誓を行う第 5 地区の責任者

真のお母様が喜ばれた 3 つの実績

宋龍天総会長と徳野英治会長を東京教区新宿家庭教会（東京・高田馬場）に迎えて行われた連合出征式には、第 5 地区（東京）の牧会者・婦人代表をはじめ、本部の局長を含む約 300 人が集いました。

全国 68 教区をインターネット中継で結んで行なわれた出征式は、李成萬本部長の司会で開幕。矢野治佳伝道教育局長の代表報告祈祷の後、徳野英治会長が開会の辞を述べました。

その中で徳野会長は、120 日特別路程において全祝福家庭が「絶対精誠は絶対勝利をもたらす」という真の父母様のみ言を体恤することを願いながら、宋龍天総会長が先頭を切って 7 日間断食を行い、本部のすべての局長や全国の地区長なども 21 日間の朝食断食を勝利したと語りました。

また、今年 2 月の基元節 4 周年を迎えるにあたり、日本が捧げた 3 つの実績を報告した上で、真のお母様が「県別に 1 万人の食口基盤が築かれれば私が訪ねていく」と約束された内容に触れ、「真の父母様と心情的に一つになれば 120 日特別路程は勝利できます」と強調。「さらなる天運を受ける秘訣は『ウリヌン・ハナダ』（私たちは

一つ）の精神です。これをもって 120 日特別路程を勝利していきましょう」と訴えました。

120 日特別路程の私たちの心構え

続いて、宋龍天総会長が「120 日特別路程の私たちの心構え」という 주제로特別メッセージを語りました。

宋総会長は私たちの心構えとして、①家庭連合の時代精神を自分のものとする②人類に対して真の父母様が抱いた復歸の心情をもって目標に対する決意をする③疎通と共有を通じた集団知性の力で各家庭と教会が抱えるすべての困難を克服する——の 3 点を指摘。その上で、「『絶対精誠は絶対勝利をもたらす』という真の父母様のみ言どおり、私たちはすべての家庭連合の時代精神を正しく知って、疎通と共有を通じた集団知性の力を発揮し、絶対精誠を尽くすならば、高潔な勝利を真のお父様の聖和 5 周年の祭壇に奉献できます」と語りました。

宋総会長は最後に、今回の 120 日特別路程は VISION2020 勝利に向けて飛躍的に発展をするための“踏み台”になると述べた上で、「93 年の全生涯をひたすら天の父母様のために生きられた真のお父様の天宙聖和 5 周年を迎える私たちの心を再び整え、真の父母様の

後だけを追う子女になるという覚悟をもって、救国救世基盤の造成を必ず成し遂げると決意を新たにするとともに、参加者たちを激励しました。

引き続き、第 5 地区の出征式が行われ、金満辰地区長が出征の辞を述べた後、各教区の牧会者と教区婦人代表が登壇。それに合わせて、会場の全食口が起立し、堀正一南東京教区長による決意文朗読に合わせ、参加者全員が出征の宣誓を行いました。

最後は、金紋夷西東京教区長の億万歳で出征式は幕を閉じました。

日本家庭連合は過去 10 回にわたる 40 日路程を通じて、母の国の使命・責任を果たして実質的な成長をし、天一国 5 年（2017 年）を迎えました。

昨年 10 月の「韓日指導者と合統一特別出征式」と共に出発した 120 日間特別路程を通して、「二世圏祝福」「新規伝道及び休眠食口の再復歸」「認定家庭教会の定着」という 3 大目標を中心として、今年 2 月の基元節 4 周年まで総力を尽くした結果、前例のない天の奇跡を経験しました。

そうした基盤の上に今年 3 月、2020 年までの後半 3 年路程の勝利を期し、全国の組織が 11 地区体制に一新するなど、家庭連合時代にふさわしい「孝情を基盤とした心情文化創建」を決意して出発しました。

真のお母様は 4 月 12 日、韓国・清平の天宙清平修鍊苑で行われた「天地人真の父母様 聖婚 57 周年記念式」で、「真の父母によって祝福を受けた祝福家庭、皆さんが知らせなければなりません。教育してあげなければなりません。そのためには国家の復歸が切実です。真の父母様を誇り、知らせ、教育すること！それが皆さんの責任です」と語られました。

一方、お母様は昨年 12 月、日本の 120 日特別路程の報告を受ける席で「県別に 1 万人の食口基盤が築かれれば私が訪ねていく」と約束されました。その先駆けが 5 月 14 日に行われた東京大会です。

東京大会を通して真の父母様の天運を相続した上で、聖和 5 周年までの 120 日特別路程を「絶対精誠を捧げれば天が役事される」という確固たる信念をもって歩み、母の国の使命を果たしていくことが願われています。

石川・金沢で「第135回二世祝福準備修練会」 家庭教育局と第6地区が初共催

家庭教育局と第6地区（北陸信越）の初めての共催となる「第135回二世祝福準備修練会」が5月5日から6日の2日間、石川県金沢市内の施設で開催され、北は栃木教区から南は南大阪教区までの幅広い地域から、修練生43人（男性25人、女性18人）が参加しました。

修練会には、家庭教育局から櫻井正上副局長と渡邊永二次長が駆け付け、第6地区からは白井康友巡回師と高松八寿夫石川教区長をはじめ、各教区の家庭教育担当者がスタッフとして参加しました。

1日目は、高松教区長の挨拶と櫻井副局長の講話に続き、「神の創造目的と理想世界」「人間始祖の堕落と原罪」「神の復帰摂理の目的とメシヤ」「真の父母様の生涯」「祝福の摂理」の講話のほか、班別交流などが行われました。

講話では、途中にディスカッションを挟んで修練生が互いに意見を交わし合い、議論した内容をみ言を通して整理しながら、一人ひとりが自身のアイデンティティーと祝福に向けてのプロセスを明確にすることができました。

2日目は、「祝福に臨む姿勢と資格条件」「祝福結婚の準備」の講話に続き、二世の先輩家庭との交流会を実施。閉会式では、白井巡回師による総括の後、櫻井副局長が修練生に修了書を授与しました。

修練生からは「今まで『祝福はしなければならないもの』『親の願いだから受ける』という気持ちが少なからずありましたが、祝福の価値を知り、神様がどれだけ願われているのかに気付かされました」（男性・20歳）といった感想が聞かれました。



修練会の講師陣と参加者

講話を行う櫻井正上・家庭教育局副局長



「原理講師育成プロジェクト」 第1回卒業検定試験を実施

「原理講師育成プロジェクト」の第1回卒業検定試験が、4月19日に東京・渋谷の松濤本部で行われたのを皮切りに、6月まで全国10カ所で順次行われています。これまで松濤本部のほか北愛知教区名城家庭教会でも行われ、合計33人が参加しました。

このプロジェクトは、「神霊と真理に満ちた教会」へと回帰するため、全公職者が『原理』のみ言で伝道し、教会を復興させることができる力を養うことを目的とした人材開発プロジェクトで、昨年6月に宋龍天総会長と徳野英治会長の大きな期待を受けて出発。第1期生として全国の教育担当者およそ130人が選抜され、これまで天一国巡回師や本部講師などのベテラン講師陣から指導を受けてきました。

卒業検定試験の参加者は、この期間を振り返りながら「今一度原理と向き合う機会が与えられ、感謝でした」「信仰の若い日にビデオで学んでいた尊敬する講師から直接教えを受けることは、この上ない恵みでした」などと感想を述べています。



名城家庭教会で行われた卒業検定試験で（4月27日）

講話試験の様子（4月19日、松濤本部）



金元弼先生の「聖和7周年記念追慕礼拝」

4月23日、西北東京教区一心家庭教会で、3家庭の長として36家庭の祝福を受けた「祝福家庭長兄」「天情奉身者」金元弼先生の「聖和7周年記念追慕礼拝」が行われ、約100人が参加しました。

礼拝では、金満辰第5地区長などが金先生の生前の証しを行った後、柴沼邦彦特別巡回師が追慕の辞を述べ、金先生の心情世界の一端を共有する時間となりました。



証しを行う金満辰第5地区長



金元弼先生

大分で「春の自叙伝心の書写&礼拝」

大分教区は4月30日、大分県別府市内の会場で「4.30春の自叙伝書写&礼拝」を開催し、青年約230人が参加しました。今回の大会は、真の父母様が最も関心を寄せられる「聖和5周年青年祝福」に向けた取り組みとして、全部署・全家庭が一丸となって祝福・信仰二世と青年の新規・再復帰のゲストに働きかけ、過去最多だった100人の2倍以上の若者が集まりました。

礼拝では、浅川勇男先生と佐野忠國大学生部長が「夢」をテーマにメッセージを贈ったほか、青年が音楽・劇・ダンスのパフォーマンスを披露して全体が復興。今後予定されている様々なイベントやセミナーにつなげていく起点となりました。



青年によるパフォーマンス



書写礼拝に参加した青年たち

UPeace 山口が熊本被災地でボランティア

5月3日～4日、山口教区成和青年部の有志7人が、熊本県南阿蘇村で被災地ボランティアを行いました。昨年に引き続き3回目の被災地ボランティアとなった今回は、一般のボランティア団体と一緒に活動。青年たちは農家のビニールハウスの撤去作業などに汗を流しました。

UPeace 山口は、7月にも熊本の被災地でボランティア活動を行う予定で、今後ますます青年の社会貢献活動を活発化させていく方針です。



熊本阿蘇家庭教会で



作業を行う UPeace 山口のメンバー